

2023.08.24. 木曜礼拝「主の剣の預言」 エゼキエル 21 章

JD ファラグ牧師

共に祈りませんか？ 主よ、私たちはあなたの聖なる御名を歌い、賛美し、祈ります。もちろん疑いの中でも、あなたのことを考えるのは簡単なようで、私たちが落ち込んでいるときも、あなたは私たちの思いの中におられます。しかし、主よ、私たちが上向きなときも、その間のすべてのときも、あなたを賛美することができるように祈ります。私たちの弱さの中で、あなたは強くあられます。私たちの思考をクリアにしてください。今夜、私たちが何かを学ぶ唯一の方法は、私たちに謙虚にさせることによってです。主よ、今晚、あなたの御言葉の中で教えられることが私たちに直接語られるように、私たちにへりくだらせてください。あなたを褒め称えます。今晚、私たちがここに集い、御言葉を学ぶことができることを感謝します。イエスの御名によって祈ります。アーメン。アーメン。

主を称えます。皆さんに、今夜はいかががですかと尋ねようとしたのですが、もう答えが出ているようですね。どうぞお座りください。ようこそ。オンラインで参加の皆さんも歓迎したいと思います。参加下さり嬉しいです。よろしければ、マウイ島の家族への救援活動についての最新情報から始めたいと思います。よろしければ、マウイ島の家族への救援活動についての最新情報から始めたいと思います。まず、寄付をしてくださった方々にお礼を申し上げたいと思います。私たちは寄付を募っていませんし、資金を求めたことはありません。私たちは、送金された金額の 100%が、特に経済的に差し迫った大きな必要を抱えた人々の手に、直接届けられていることを知っていただきたいと思います。私たちは、送金された金額の 100%が、特に経済的に差し迫った大きな必要を抱えた人々の手に、直接届けられていることを知っていただきたいと思います。これが理由です。ラハイナに教会があったカルバリーチャペル・ウエストサイドのステイブ・サントス牧師と直接連絡を取っています。「ラハイナにあった」と言いましたが、彼らが借りていた建物はまだ残っています。周囲のすべては燃えました。しかし、問題は、そこに行けないことです。行けないかもしれませんが、ステイブ・サントス牧師とその交わりを祈り続けてください。というのも、彼らは 30 年ほど前から、日曜礼拝をビーチ公園で行っていて、週半ばの聖書の学びを、ラハイナの建物の中で行っていました。彼らは最近、まるで「ヨセフを知らない新しいファラオ」のようです。彼らは、ビーチ公園で宗教的な集会として集会を開くことについて、さまざまな法的問題を抱えていました。だから、彼はこのようなことが起こる前から戦ってきたんです。とにかく、彼はすばらしい兄弟であり、良い友人です。私は彼に連絡を取りました。電話でかなりの時間を過ごし、彼は状況がどうなっているのか、当面の必要性は何なのかを本当によく説明してくれました。ですから、寄付して下さった方に感謝します。すでに送金済みで、さらに送金する予定です。その資金は 100%、コストコなどのギフトカードとして人々に配布されます。また、今現在、ホテルには家を失った人々が宿泊しています。この資金は、必要に応じて、それらの部屋の支払いに充てることもあります。今現在は、基本的にすべてを失った人たちのために提供されています。すべてを失った人々の数は、あらゆる意味で想像を絶します。彼が私に話してくれたことのいくつかは、想像を絶するものでした。彼は私に、具体的に、マウイ島の観光が止まっていることを話して欲しいと頼みました。今起きていることは、地元の人々の仕事と生活が犠牲になっているということです。マウイに来るなどと言われれば、それは確かに助けになりません。彼は私に、人々が今もマウイに来る必要があることを伝えてくれないかと頼みました。観光でラハイナにいた人々を助けていた地元の人たちを実際に助けることになるからです。地元の人が人々を助けているとは、興味深いことだと思いませんか？ マウイ島にいるキリストにおける兄弟とも連絡を取っていて、彼は

新車のフランチャイズやディーラーをいくつも統括しています。あなたがこのことを考えたことがあるかどうかわかりませんが、多くの人が車を失いました。だから私たちはすでに、失われたこれらの車を取り替える計画に取り組んでいます。スティーブがディーラーの社長に連絡を取ってくれて、その社長が全ディーラーを監督する取締役と連絡を取ってくれました。車を持たない人たちのために車を用意する計画もすでにあります。ええ、考えてみてください。ええ、主を称えます。一拍手一 さて、ここで注意してもらいたい背景があることを理解しておいてください。私は...ええ、私は今でも心は車のディーラーです。私は車のビジネスに携わってきました。車好きなんです。30年以上働いてきました。車の業界から男を追い出すことはできても、男から車の業界を追い出すことはできません。だからスティーブと話しているとき、私は、「よし、わかった、じゃあ...!」と。とにかく、詳細は割愛しますが、その努力は継続中であり、主の御心なら、私たちはこれを調整することができるでしょう。そして時が来れば、よく言われるように、現地に部隊を派遣することも再検討するつもりです。今すぐには、そのようなことはあまり考えられず、本当に実現不可能です。サマリタンズ・パースがテントを張ってくれると言っていました。しかし、問題があります。誰もそこには行かないのです。なぜか？ みんなそこを去ったからです。そこには誰もいません。もうひとつ、これも言うておかないと大変不注意だと思います。生き残った人たちは、もう去ってしまいました。彼らはおそらく、島に戻ることはないでしょう。死者数は...これはいつも本当に難しいのですが、どうか数字にしないでください。これらは人々です。スティーブから聞いたところでは、1000人を軽く超えているようです。それは控えめです。非常に多くの人々です。私と妻はいろいろ調べていたのですが、最後の...少し古い情報かもしれませんが、更新されていると思います。これには観光客は含まれていません。ここオアフ島のように、いつでも何千人もの観光客が訪れているからです。以前、オアフ島で1日に何人という統計を聞いたことがあります。ピーク時には25万人の観光客が訪れます。ラハイナの人口はおよそ1万2000人で、これは古い数字かもしれませんが、このことをよく考えてみてください。そこに、その日そこにいた観光客の数が加わります。私たちは多くの人々、二度と元には戻らないであろう多くの人生について話しています。そして...

しかし、神は、聖書の学びの前に、ちょうどこの話をしていたのですが、神は賢い者を困惑させるために愚かな者を選び、強い者に恥をかかせるために、弱い者を選ばれます。主は、この教会を用い、この教会を準備し、この教会をこのような時のために用いようと、ご自分の主権とユーモアにおいて適切であると判断されたのです。つまり、私たちは準備万端だったのです。神がなさろうとしていることの一部を担えるとは、なんと深い特権でしょう。神が行っていることは、神だけがおできになることであり、今まさにマウイ島で行われています。多くの奇跡と多くの証があります。手短にお話しします。あと1時間ほどで、聖書の学びに取りかかれますから。一（笑）一

もうすぐで終わります。お付き合いください。物資の最新情報をお伝えしたいと思います。マイク・ラオ兄弟は、最新情報を知らせてくれています。私たちが送った物資も、送られた物資も、人々に届いていることを保証したいと思います。だから今は...、今日は何曜日ですか？ 木曜日ですね、だって、聖書の学びですから。今は、すべて思い出せません。これは火曜日の時点の話かもしれないので、今はもっと増えているでしょうが、16のコンテナが荷揚げされました。ええ、主を称えます。一拍手一 皆さんにお伝えしたいのは、神には可能です。あまり多くの情報は教えられません。文字通り道路を封鎖している政府当局を迂回しなければならなかったからです。そこで彼らがしたことは、トラックを借り、コンテナを積み下ろし、トラックで物資を運び、教会やホテル、コミュニティセンターへと運びました。

すでに人を配置していました。神にしかおできに出来ない方法で、すべてを完璧に指揮されました。物資はすべて配給され、コンテナはすべて荷揚げされ、これらのトラックはすべて、文字通り道路封鎖にもかかわらず、配送のためにこれらの非公開の場所に積み込まれ、運ばれています。すべてはこう言うためです。「主を称えます。神は良いお方です」一拍手一

では最後に、祈り、祈り、祈ってください。それが終わったら、さらに祈ってください。それが今から私たちがすることです。一緒に祈りましょう。

天の父よ、マウイ島の兄弟姉妹を助けるという、この島での私たちの深い特権を本当にありがとうございます。主よ、あなたはこのような時に、床や車の中で寝ている人々を助けるために、あなたの手となり、足となり、あなたによって用いられるにふさわしい者としてくださいました。

主よ、あなたはいつも忠実であられるように、ご自身を忠実に現してください。神様、天国のこちら側では決して知ることのできない奇跡がたくさん起こっていることを知っています。このことによって多くの人生が変わり、多くの人々が救われています。主よ、感謝します。これほど悪いものから良いものを生み出すことができるのは、あなただけだからです。ですから主よ、あなたに感謝します。主よ、どうか疲れた者、救急隊員を力づけてください。その多くが心に深い傷を負い、彼ら自身も今では交代を余儀なくされています。主よ、適切な人、適切な人数を、適切な場所に、適切なタイミングで、これらの人々の必要を満たすためにお与えください。主よ、それだけでなく、まぎれもなくあなたであるような方法でそれを行ってください。あなた以外の誰の手跡もないように。あなただけが栄光を得られるように。主よ、感謝します。マウイ島の兄弟姉妹を助けてくださいませんか？ 負傷し、火傷を負った人たちを力づけてください。主よ、彼らを奇跡的に癒してください。24 時間体制で働き、睡眠不足に陥っている多くの人たちを力づけてください。医療品を必要としている人々のために、必要な医療品を届けてください。超自然的な平和を必要としている人々に超自然的な平和を与え、このことで深く傷ついた人々を聖霊によって慰めていただけませんか？ もう一度主よ、私たちがこの一旦を担えることを感謝します。

主よ、今夜私たちは、あなたの御言葉の中で共に過ごす時間をとても大切にしています。木曜日の夜は、ただ御言葉にふれ、共に過ごし、共に交わり、共に礼拝し、そして今は御言葉にふれる時間です。聖霊によって、今夜私たちの教師となってください。私たちの人生に語っていただけませんか？ 私たちの聖書の中で、この章が私たちの前に置かれているのには理由があります。ですから主よ、ここから私たちに働きかけてください。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

それでは。先週の 20 章での導入部分を少し振り返ってみましょう。エゼキエルは神に泣き叫んでいるようで、それは嘆きでした。つまり、エゼキエルはただ神に向かって、人々が彼に耳を貸さず、彼を退けていることについて叫んでいました。彼らは、理解しがたいたとえ話であるエゼキエルの預言を名目にそうしていたのです。エゼキエルはバビロンにいて、同時にエレミヤはまだユダにいることを覚えておいてください。二人とも、バビロン人がやってくる三度目の包囲で、滅亡が訪れることを預言しています。この三度目の包囲で、彼らは残りの捕虜をすべて連れて行き、神殿を破壊し、ダビデ王国も破壊すると。今夜これから見るように、王の王が来られるまで、エルサレムには、イスラエルには、もはや王は存在しません。

1948 年 5 月 14 日以降の現代のイスラエルには王がいません。政府はあります。首相はいます。大統領がいて、選挙で選ばれた議員がいます。しかし、王はいません。なぜ王がないのでしょうか？ 今夜、私たちがエゼキエル書で目の前にしているこの預言のためです。では、これが起きていることです。エゼキ

エルは泣き叫んでいます。彼らが耳を傾けないからです。

「エゼキエルよ、彼らはエレミヤにも耳を傾けない。個人的に受け取らないように。だから、エゼキエルよ、わたしはこうしよう。彼は文句を言っていて、あなたがなぞかけやたとえ話で話しているので、彼らは理解できないと。だから、21章では何か違うことをしよう。もう一度、視覚的な預言を試みよう。」視覚的な預言とは何か分かりますか？「わたしたちはこのことを実証し、明確な言葉ではっきりと示そう。」預言者エゼキエルを通して神がなさろうとしていることは、私が「主の剣の預言」と呼んで親しんでいるものです。「結局のところ、彼らは混乱しているのだから。彼らを混乱から解こう。剣がそれを行う。」

これから見ていくのは、神が預言者エゼキエルを通して、バビロンによる三度目の包囲でユダに下される裁きを預言する視覚的な預言です。主がそれを意図されたからです。それが主の剣の預言の目的です。これを読み進めていくうちに、線を引こうとしたのですが、数えきれなくなりました。「剣」という言葉が何度も出てきます。気が散らないようにしたいのですが、ここでいきなり目にするようになります。1節。

—エゼキエル 21:1—

次のような主のことばが私にあった。

—エゼキエル 21:2—

「人の子よ。エルサレムに顔を向け、聖所に向かって語りかけよ。イスラエルの地に向かって預言せよ。」

—エゼキエル 21:3—

イスラエルの地に言え。『主はこう言われる。今、わたしはおまえを敵とする。わたしは剣をさやから抜き、おまえのうちの、正しい者も悪い者も絶ち滅ぼす。』

「これではっきりしましたか？ 私たちはもう、なぞかけで話していませんね？ これは率直な話です。」

—エゼキエル 21:4—

おまえのうちの、正しい者も悪い者も絶ち滅ぼすため、わたしの剣はさやを離れ、南から北まですべての肉なる者を敵とする。

—エゼキエル 21:5—

このとき、すべての肉なる者は、主であるわたしが剣をさやから抜いたことを知る。剣は二度とさやに収められることはない。』

これではっきりしましたか？ 皆さんのことじゃないですよ。— (笑) — 私の記憶力が落ちてきていますが、使徒パウロだったと思いますが、御霊によってこう言いました。「神はすべての言い訳を取り除かれる。」だから、何も言い訳はできません。弁解の余地はありません。ペテロだったかもしれません。もし間違っていたら、優しくしてください。どちらでもないかもしれません。神は彼らが言い訳ができなくなるようなご方法でこれを行われます。誰も「ああ、知らなかった」とは言えません。「あなたは知っていた。」「いや、でも、はっきりしてなかったんだ。」「いや、はっきりしていた。」「ええ、でも、分からなかったんだ」「何が分からなかったのか？」もしあなたがまだその言い訳に隠れようとしているなら、何が起るか見てみましょう。6節。これは神がエゼキエルに語っておられます。

—エゼキエル 21:6—

人の子よ、あなたは、うめけ。彼らが見ているところで、腰が砕けるほど激しくうめけ。

さて、7節に進む前に、ここで見逃してほしくないことがあります。神がエゼキエルにこのようなふりを

するように言っているとは少しも思われなくてください。どういう意味か分かりますか？ 言い換えれば、「傷ついた心でため息をつき、目に苦い思いを浮かべ、心を砕き、苦い思いを抱いてほしい。これを外見的にやってほしい。これは演技をするためではない。エゼキエルよ、ただ吐き出してほしい。ため込んではいらない。わたしは彼らにあなたの傷ついた心を見てほしい。あなたの目に浮かぶ苦い涙を見てほしい。泣く男とため息をつく男には何かがある。彼らにあなたのため息と涙を見てもらいたい。あなたの傷ついた心と苦い涙を見てほしい。」

その理由を7節で見えていきます。しかし、それは神が今夜、私たちにこう言っておられるようです。「仮面をつけようとするのはやめなさい」「心の中では死にそうなのに、クリスチャン・スマイルを装うのはやめなさい。あなたの心は壊れている。あなたの涙は苦く、あなたは深く傷ついている。それを吐き出してもいい。わたしは人々にあなたを見てほしいから。人々はあなたに理由を尋ねるだろう。」それが7節です。

—エゼキエル 21:7—

彼らがあなたに、『何のために、あなたはうめくのか』と言うなら、そのとき、あなたは言え。『この知らせのためだ。…』

「今、本当に悪い知らせを聞いたんだ。」

…『この知らせのためだ。それが来ると、すべての者は心が萎え、すべての手は力無く垂れ下がり、みな意気消沈し、どの膝も震える。…』

お許しいただきたいのですが、これは尿意を我慢できないことの表現です。つまり、彼らがどれほど恐れ、どれほど萎縮してしまうかということです。自分で尿意を我慢することができなくなります。

「それほど彼らは怖がるだろう。だから私はとても心を痛めている。尋ねてくれてありがとう。私は今、これから起こることについての恐ろしい知らせを受けただけで、そのために壊れた心で苦い涙を流し、ため息をついている。これから起こることに深い痛みを感じている。それが起こる時、すべての心は萎える。」

なかなかの描写ですよ？「すべての手は力無く垂れ下がる」つまり、「あまりの激しさに、あなたは…文字通り、立ってられないほど体が震えるだろう。何度も申し訳ないですが、あなたはパンツを濡らしてしまうだろう。これから起こることに気を失うだろう。そして、それは起こる。」

…今、それが来る。それは実現する——神である主のことば。』

さて、ここは、あなたが自問しなければならぬ箇所のひとつです。「なぜ聖書にこのような章があるのか？」これがこんにちの私たちにとって、これから起こることに非常に当てはまるということに同意していただけるでしょうか？ どうでしょう、少しだけ我慢して、私を甘やかしてください。今夜の教えの準備をしていたとき、私はこの聖句に少し衝撃を受けました。なぜなら、クリスチャンである私たちは、ノンクリスチャンが決して味わうことのない悲しみの杯から味わうからです。

説明します。ソロモンが書いているように、「多くの知識には多くの悲しみが伴う」(伝道者の書 1:18 参照) 世間では「無知は至福 (知らぬが仏)」と言います。人々はいつもと同じように生活し、飲んだり食べたり、パーティーをしたりしています。もし彼らが、これから何が起こるかを知ってさえいれば。私たちは、何が起こるか知っています。何が起こるかを知ることに伴ってもたらされるのは、嘆きと悲しみと痛みです。胸が張り裂ける思いです。私は非常にオープンに分かち合ってきました。それがあなたを不快にさせるかもしれません。もしそうなら申し訳ないですが。あまり外に出ることがないのであまり多く

はありませんが、でも、外出したとき、私はただ人々を見て、何が起こるのか知らない彼らのことを思うと、胸が張り裂けそうになります。私は祈ります。派手で手の込んだ祈りではありません。ただ人々のために、人々の救いのために祈ります。

「主よ、もし彼らがあなたを知らないなら、もし彼らが信者でないなら、どうか彼らをあなたの救いの知識に導いてください。お願いします。」

でも、これが私の心をつかみました。私が感じたのは、私たちはある意味、それを覆い、隠してきたのではないかと。私たちは何が起こるか知っていますが、誰も私たちにそのことを尋ねません。私たちはそれを隠すために笑顔を浮かべているからです。それはペテロです。今度は分かります。私は分かっていた方がいいし、皆さんもです。ペテロの手紙第一と第二を節ごとに読み終えたばかりです。

「あなたがたのうちにある希望について説明を求める人には、だれにでも、いつでも弁明できる用意をしていなさい。」(I ペテロ 3:15)

それは前提条件があるんです。その前提は、誰かが尋ねることです。御霊によってペテロはこう言っています。

「自分が持っている希望について、誰かに伝えられるように用意しておきなさい」
違います。「聞かれたらすぐに答えられるように用意しておきなさい」それは、誰かが尋ねてくることを前提としています。「でも、誰も尋ねてきません。」これが理由かもしれません。人々はあなたの人生の行き先を見ています。「まあ、私は彼には尋ねない。無意味だ。」そして、人々は私のような人を見て、「どうしたの?」「聞いてくれて嬉しいよ。何が起こるか知っていますか?」「なぜそんなに悲観的なんですか?」「何が起こるか知っていますか?」「なぜそんなに落ち込んでいるのですか?」「何が起こるか知っていますか?」「なぜそんなに心を痛めているのですか?」「何が起こるか知っていますか?」それはやって来ます。ところで、主の御心なら、この日曜日の預言アップデートは、ネタバレです。私は質問を投げかけます。質問は何だと思いませんか?

「もし携拳が起ころうとしていると知ったら、あなたはどうするのか?」
その問いに取り組みます。いや、もし知っていたら.....これはエゼキエルです。私たちはこの章を終えますよ。もう少しだけ時間をください。これはエゼキエルです。彼はこれから起こることを示され、それは言いようのないものになります。恐ろしいこと。世界がかつて見たこともなく、これからも見ることもないような苦難です。イエスご自身のことばです。私たちは偶然それを知っていて、誰もそれについて尋ねません。「もしそれが来たら」ではなく、「それが来たとき」何が起こるのか? それ私たちが誰も想像できないほど早くやって来るとしたら? もう一つ。それから先に進みます。私は、その...言い方が悪いかもかもしれませんが、こんにちのキリスト教会に欠けている失われた芸術、宝石、広く言えば、失われた者への、この失われ、滅びゆく世界への真の痛みです。私たちの心は、神の御心が痛むようなことでは痛みません。何が起こるかを知っているからこそ、失われた人々のために最後に苦い涙を流したのはいつだったのでしょうか。私たちが誰かにその傷ついた心や苦い涙を見せることを許したのはいつだったのでしょうか。そうすれば、人々は私たちに尋ね、私たちは答えを与えることができるでしょう。使徒パウロが携拳の文脈で書いたように、

「私たちは希望のない者のように悲しまない」からです。(I テサロニケ 4:13)
それは聖なる嘆きです。私たちは嘆きますが、希望のない人たちのように、嘆くことはありません。それは聖なる悲しみと嘆きです。そこで神はエゼキエルに、外に向かってただそれを吐き出し、彼がどれほど

心を痛めているかを示すことを望まれました。そうすれば、なぜそんなことをするのか、彼らはエゼキエルに尋ねるでしょう。私は、杯を運ぶネヘミヤのことを考えます。王の杯を持つ者として、喜ばしくない表情で王の前に出ることは、死刑に値すると知っていましたか？ ただ殺されます。ネヘミヤはエルサレムで起こっていることの知らせを受けたところでした。彼はひどく打ちのめされています。でも、彼は王の杯を運ばなければなりません。おそらく泣いています。そして王はネヘミヤを知っています。王はネヘミヤに尋ねます。「どうしたのか？」ネヘミヤは言います。「私はエルサレムのことと心を痛めています」ネヘミヤ記の学びをご一緒した皆さん、神がそれをどうなさったかを見てください。ネヘミヤを遣わし、すべてのプロジェクトに資金を提供し、あらゆる困難を乗り越えて奇跡的に城壁を再建しました。反対派は？ 53日間で奇跡が起きました。すべては王がネヘミヤに尋ねたからです。

「ネヘミヤよ、なぜそんなに落ち込んでいるのか。あなたらしくない。何があったのか？」(ネヘミヤ 2:2 参照)

「ちょうど知らせを受けたところなのです。それが理由です。」私が思うのは、人々が尋ねないのは、私たちの心が失われた者のために砕かれていないからではないでしょうか。

—エゼキエル 21:8—

次のような主のことばが私にあった。

—エゼキエル 21:9—

「人の子よ、預言せよ。『主はこう言われる。剣、一振りの剣が研がれ、磨かれている。

—エゼキエル 21:10—

虐殺のために研がれ、稲妻のようにそれは磨かれた。それとも、われわれは喜ぶべきか。すべての木を退ける、わが子の杖を。

—エゼキエル 21:11—

その剣は磨かれて手に握られ、研がれ、磨かれて殺す者の手に渡される。』

これはどういう意味ですか？「エゼキエルよ、主の剣の視覚的預言として、磨き上げられた、明るく、ほとんど見ることができない剣をあなたの手に持たせよう。わたしはそれを殺す者の手に渡そう。」

—エゼキエル 21:12—

人の子よ、わめけ。泣き叫べ。それがわたしの民の上を下り、イスラエルのすべての君主たちに下るからだ。彼らはわたしの民とともに剣に投げ込まれる。だから、あなたはももを打って嘆け。

今、彼らはエゼキエルが肉体的に、外見的に、視覚的にこうするのを見えています。

—エゼキエル 21:13—

試みのとき、退ける杖さえなかったら、どうなるか——神である主のことば。

—エゼキエル 21:14—

人の子よ、あなたは預言せよ。手を打ち鳴らせ。剣を二倍、三倍にして、人を刺し殺す剣とし、彼らを貫く大なる殺戮の剣とせよ。

わお...これを思い浮かべてください。繰り返しますが、これは視覚的な預言で、どうやら明確ではなかったからです。視覚的な補助が必要でした。これはパワーポイント以前の話です。ここに、剣があります。3度目に注目してください。これが3度目の包囲、最後の包囲です。これで分かりましたか？ 主の剣、主の剣の預言、それは三度目にやって来ます。攻撃し、殺しに来ます。興味深いのは、私が想像力を働かせすぎているかもしれませんが、エゼキエルがバビロンの街の広場で、剣を手このことを預言し

ている姿を想像できるでしょうか？ つまり、パンとフムスを買いに行く途中で、エゼキエルがそうしているのを見かけたら、私は彼に注目します。私は彼の話を聞いています。あの剣はかなり輝いているから。それに、この男は頭がおかしい。距離は置いています。パンとフムスの店はこっちです。でも、エゼキエルは向こうで、剣をもってこのことを預言しています。

—エゼキエル 21:15—

それは、彼らの心が震えおののいて、つまずき倒れる者が増えるようにするためだ。わたしは彼らのすべての門に、殺戮の剣を置く。ああ、剣は稲妻のようにされ、屠るために磨かれる。

—エゼキエル 21:16—

剣は顔を右に向け、左に向けて切りまくれ。おまえの顔の向くところを。

—エゼキエル 21:17—

わたしもまた、手を打ち鳴らし、わたしの憤りを収める。主であるわたしが語るのだ。」

言い換えれば、「わたしは満足する。」でも、エゼキエルがどうやってこれをやり遂げたのかはわかりません。だって彼は... (JD：手を打ち鳴らす) こうするんですから。でも、その剣はどうしたのでしょうか？ 地面に埋めたのでしょうか？ この狂った預言者は何をしているのか？ あなたの注意を引いているのです。それが彼のやっていることです。今、あなたは聞いていますね？

—エゼキエル 21:18—

次のような主のことばが私にあった。

—エゼキエル 21:19—

「人の子よ。あなたは、バビロンの王の剣が来るように、二つの道を備えよ。その二つの道はともに一つの国から出るようにし、町に向かう道の始まりにそれぞれの道しるべを刻みつけよ。

—エゼキエル 21:20—

剣が、アンモン人のラバ、あるいはユダ、すなわち城壁のあるエルサレムに行くように、道を備えよ。

—エゼキエル 21:21—

バビロンの王は道の分かれ目、その二つの道の始まりに立って占いをする。彼は矢を振り混ぜ、テラフィムに伺いを立てて（像に助言を求めて）、肝を調べる。

私はレバー（肝）は好きではありません。肝を調べるとはどういうことでしょうか？ ここで何が起きているのでしょうか？ これはとても興味深く、とても魅力的です。バビロンの王は、バビロンの神々の占いを使って指示を仰いでいます。今、彼らは岐路に立たされています。アンモン人のところへ行くか、イスラエル人のところへ行くか。アモン（現在のヨルダン）に行くか、ユダに行くか。そこで王は霊媒師に相談します。霊媒師はコインを裏返すように矢を振り、占います。表：アモン。裏：ユダ。

それが矢の部分です。霊媒師は像に相談します。誰かの気分を害さないことを願いますが、茶葉を読み解く（運勢を占う）と言いませんか？これは慣用句ですね？ 地元のことばですか？ 違います？ ああ、イエス様、感謝します。良かったです。では、こうしましょう。子どもの頃、母や叔母たちや祖母がアラビックコーヒー、ほら、小さいカップのトルココーヒーですね。本当はアラビックコーヒーです。でも、トルコ人には言わないでください。とても、とても、美味しく、とても濃いコーヒーです。本当に、とてもおいしいです。（中東訛り）私たちと一緒にイスラエルに行った皆さん、トルココーヒーを覚えていますか？ほ～！ とにかく、彼らはコーヒーを飲むのですが、小さいカップで、とても濃いです。大きなカップは必要ありません。多すぎます。小さいカップで。飲み終わりました。彼らはカップをソーサーに

逆さまに置きました。それを放置して、取り上げて読みます。彼らは、カップの内側に形どられたコーヒーのかすの中にある絵を探し、それを占いのように使います。それは茶葉を読み解くことでも、トルココーヒーカップを読み解くことでもいいのです。それがこの「像に助言を求める」ことです。

「分かりました、牧師さん、肝はどうですか？」さて、準備はいいですか？ 豪華な夕食を召し上がった方には申し訳ないですが、そこで彼らがしたことは、神々に捧げた動物の肝を見て...レバーと玉ねぎは好きですか？（会衆：いいえ）イエス様、感謝します。主を称えます。レバーとタマネギはないでしょうが、タマネギはあるかもしれません。タマネギは好きですが...天国にはレバーはないと、私は確信しています。だから、彼らは肝の色を見て、それで判断するのです。神はエゼキエルにこう言われました。

「バビロンの王は、これからラバでアンモン人を包囲するのか、それともユダに入るのか、決断を下すことになる。」

だから、コインをひっくり返したり、肝を見たり、矢でも、茶葉でも、コーヒーカップでも何でもいいのですが。彼らはそう考え、そうやって決断を下します。しかし、神が彼らの決断をコントロールしておられます。なんてかっこいいんでしょう。

—エゼキエル 21:22—

彼の右の手に、エルサレムについての占いが現れる。それは、彼が城壁崩しを配置し、口を開いて叫び、ときの声をあげて、城壁崩しを門に向かわせ、壘を築き、包囲壁を設けるというものである。

—エゼキエル 21:23—

しかしこれは、厳かな誓いをしているエルサレムの民の目には、むなしい占いと映る。だが、バビロンの王は彼らに自分たちの咎を思い起こさせることになり、こうして彼らは捕らえられる。

ここで何が起きているかわかりますか？

—エゼキエル 21:24—

それゆえ、神である主はこう言われる。あなたがたの背きはあらわにされ、あなたがたのすべての行いに罪が現れて、あなたがたの咎がわたしに思い起こされる。あなたがた自身が思い起こされるゆえに、あなたがたは彼らの手に捕らえられるのだ。

つまり、バビロンの王は、自分の神々に占いや相談をしているつもりなのです。「左のアモンに行くか、右のユダに行くか。」神は（笑いながら）こう言っておられるようです。

「よし、コインをひっくり返したり、コーヒーカップを飲んだり、茶葉を読み解いたり、好きなことをしたらいい。あなたはユダに行くのです。」

それがここで起きていることです。なぜでしょう？

—エゼキエル 21:25—

汚れた悪者、イスラエルの君主よ。あなたの日、最後の刑罰の時が来た。

—エゼキエル 21:26—

神である主はこう言われる。かぶり物を取り、冠を外せ。すべてがすっかり変わる。(26節の終わりのこの部分は どうでしょう?) 低い者を高くし、高い者を低くせよ。

これこそ一つの説教です。「神は低い者を高くし、高い者を低くされる」訳すと、「あなたは自分を高めてきた。今、わたしがあなたをへりくだらせる。」これがダビデ王国の終わりです。「冠を外しなさい」

27節に注目下さい。

—エゼキエル 21:27—

荒廃だ。荒廃だ。廃墟をわたしはもたらす。…

(3度です。3度包囲されます)

…これは、さばきを執行する者が来て、…

「おお、誰のことですか？」聞いてくれて嬉しいです。王の王、イエスのことです。王の王が来て、イスラエルの王としてふさわしいダビデの王座につくまで、ダビデの血筋の王が王座につくことはありません。

…さばきを執行する者が来て、わたしがさばきの権威を授けるまで、起こったことのないような出来事だ。

「者」が大文字であることに注目下さい。それはイエス・キリストであり、主の主、王の王です。主が来られるまで、王国は終わりです。終わったのです。主が来られるまで、王国は滅びました。待ちきれません。

—エゼキエル 21:28—

人の子よ、あなたは預言せよ。こう言え。『神である主は、アンモン人と彼らのそしりについてこう言う。剣、一振りの剣が、虐殺のために抜き放たれた。絶ち滅ぼすために、稲妻のように研ぎ澄まされて。

—エゼキエル 21:29—

おまえのためにむなしい幻があり、おまえのためにまやかしの占いがなされても、その剣は汚れた悪者どもの首に当てられ、彼らの日、最後の刑罰の時が来る。

—エゼキエル 21:30—

剣をさやに収めよ。おまえが創造された場所、おまえの出身地で、わたしはおまえをさばく。

—エゼキエル 21:31—

わたしはおまえの上にわたしの憤りを注ぎ、激しい怒りの火を吹きつけ、滅ぼすことにたけた残忍な者たちの手に、おまえを渡す。

—エゼキエル 21:32—

おまえは火の薪となり、おまえの血はその国の中で流され、おまえはもう思い出されることはない。主であるわたしが語ったからだ。』

これが章の終わりです。では、祈りで締めくくりましょう。— (笑) —

まだです。そう焦らずに。これってちょっと…これが、「旧約聖書の神は、怒りの神だ！」という理由です。聞いたことがありますね？ こういう章があるから、人々はそういうことを言うのです。しかし、神は裁かれます。なぜなら、神は彼らを正し、清め、偶像礼拝を治されるからです。神は彼らに悔い改める時間をたくさん与えられました。彼らは神を拒絶しました。神はご自身を強要されません。簡単な方法で学ぶこともでき、大変な方法で学ぶこともできます。あなたは決断しました。あなたの心は決まり、心は硬くなり、運命は決まっています。これは実現します。神がそうおっしゃったのだから、それで決まりです。では、私たちは今夜、この章から何を受け取るべきでしょうか？ これが今夜の私たちにどう当てはまるのか？ いくつか理由があります。ひとつだけ挙げましょう。それは実現し、裁きが訪れ、主の剣が彼らを襲うというこの預言が、再びやって来ます。黙示録 1 章です。それは、最終的な主の預言の剣です。ヨハネはイエスのことを描写しており、イエスの口から、この両刃の剣が出ていると言っているからです。エペソ人への手紙 6 章の霊的武具の箇所はよくご存じでしょう。攻撃的な武器は、神の御言葉である御霊の剣だけです。主の御口から出る御言葉は両刃の剣です。ヘブル人への手紙だと思いますが、神の御言葉は両刃の剣のようで、切り裂き、切り離します。(ヘブル 4:12 参照)

こう言ってもいいでしょうか？ 外科手術のように正確に、そして預言的に、そこにあるべきでないものを取り除きます。神は何をしておられるのか？ これは私たちにどのように当てはまるのか？ 切り取るのは御霊の剣です。私たちは御言葉を調べると言いますが、御言葉が私たちを調べます。もし御霊の剣が神の御言葉であり、御霊の剣が魂と霊、骨と髄の間を切り裂くものであるならば、それが教訓です。私たちの人生における主の剣は、私たちの人生にふさわしくないものに切り込み、取り除こうとしておられます。主はそうしなければなりません。あなたを愛しておられるからです。主はあなたを清めるために、このように裁かなければなりません。あなたは火の薪になります。これは金細工職人のような精錬する火です。

「これは起こらなければならない。あなたを愛しているので、わたしはこれを行う。もし愛していなければ、気にも留めない。わたしは裁きの剣をもたらさなければならない。裁きは起こらなければならない。剣は斬らなければならない。わたしはこれをしなければなりません。真実は、わたしがあなたのためにこれを行うことをあなたは望んでいる。わたしはしたくない。あなたもわたしにそうしてほしくないことは分かっている。しかし、しなければなりません。」

私たちは上手くやると思います...私たちは皆、そのような傾向があり、私も同罪ですが、神の御言葉のこのような章を避けてしまうことです。あえて言うなら、私も含めて、この章のどの節も人生の聖句として壁に貼っている人はいないでしょう。もしそうなら、後で話せますか？ それについて知りたいです。それって本当に変わってます。私の人生の聖句：「あなたは火の薪となる」だから、それが私たちが話した断絶です。その逆のことが起こるべきなのに、私たちはそれを避けます。それを避けるべきではありません。そこに引き寄せられるべきです。これは、私たちの人生に住み着いているもの、私たちから取り除く必要のあるものを切り取る主の剣だからです。それは神の正義、神の裁きです。それはやって来ます。やって来ます。それはやって来ます。それは私たちの誰もが想像するよりも早く。最後にもうひとつ。使徒パウロのことを考えます。パウロはキリストの体、キリストの花嫁に語っています。

「花婿であるイエスが来られるとき、あなたがたを純真な処女の花嫁として献げたい。」(Ⅱコリント 11:2 参照)

最近の私たちの人生における試練は、神が私たちのために用意された場所に花嫁を連れて行くために来られる前に、神が花嫁を清める方法なのではないかと思うことがあります。どうでしょう...私は自分自身に語っています。私自身の人生における試練や困難は、時々、主の剣が私の人生に切り込んでいるのだろうかと思うことがあります。「それを取り除く必要がある」と。「わたしはあなたからそれを取り除く必要があります、そのために剣を使う必要がある。そうしなければ、あなたを殺すことになるから。」

わたしとあなたの中に、どんなに良くても邪魔が入るので、それを取り除かなければならない。」

偶像礼拝とはそういうものですね？ 不思議なことに、イスラエルはバビロン捕囚以前の偶像礼拝に戻ることはありませんでした。つまり、うまくいきました。あなたの人生において、私の人生において、主の剣がその働きを必要としているものは何でしょうか？ それがどんなに辛くても、苦しくても、困難であっても、神にそうしていただきましょうそれはあなた自身の益のためです。主はそこから良いものを生み出してください。私は締めくくろうとしていて...これが精一杯です。

カポノ上がって来て下さい。皆さんお立ちください。では、終わりにしましょう。何人かは、

「イエス様、ありがとうございます。終わらせてくれて」と思っていますね。なんという章でしょうか。天のお父さま、私は最善を尽くしました。聖霊が私たちの教師であり、このような教えを、私を含め、す

べての人の心に合わせて微調整してくださることを心から感謝します。主よ、感謝します。辛く厳しいことですが、これが真実です。主よ、真実をありがとうございます。主よ、あなたがいつも忠実にそうしてくださるように、聖霊によってここから引き受けてください。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7